

令和8年9月10日

保護者様

基山町立若基小学校
校長 四 島 誠

令和8年度全国学力・学習状況調査（6年生）及び 令和8年度佐賀県学力調査（5年生）の実施結果について（概要）

今年の4月全国の国・公・私立学校の小学校6年生を対象に、「令和8年度全国学力・学習状況調査」が、佐賀県の小学校5年生を対象に「令和8年度佐賀県学力調査」が実施されました。今年度分の調査結果の概要をまとめましたのでお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

【全国学力・学習状況調査 6年生の結果】

○生活習慣や学習環境等に関する調査結果の概要 （ ）は全国平均

(1) 特に良い傾向が見られる主な項目

- ・「毎日朝食を食べていますか」100%（93.3%）
- ・「人が困っているときは、進んで助けていますか」96.8%（92.7%）
- ・「自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思う」96.8%（73.2%）

他にも、「5年生までに受けた授業でPC、タブレットなどのICT機器を毎日1回以上使用した」、「昼休みや放課後に本を読んだり、借りたりするために、学校図書館に週3回以上行く」等は、全国平均と比較して、良い傾向が見られました。

(2) 課題が見られる主な項目

- ・「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文書、話の組立てなどを工夫して発表していますか」48.4%（66.4%）
- ・「学校や勉強のことについて、あなたの親や家族はどのくらいあなたと話しますか（月に2回以上）」67.7%（75%）

他にも、「今回の国語や算数で、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか」、「5年生までに受けた授業では、国語の授業で文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていたか」等は全国平均と比較して、課題が見られました。

○教科ごとの調査結果の概要

〔正答率〕	国 語	算 数
若基小学校	62.0%	58.0%
佐賀県	56.0%	52.0%
全 国	60.9%	56.4%

(1) 国語の調査結果概要について

- ・国語全体については、全国平均及び県平均と比べて高い結果でした。特に、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域について、よく理解していました。
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題については、全国平均と比べて低い結果となりました。

(2) 算数の調査結果概要について

- ・算数全体については、全国平均及び県平均と比べて高い結果でした。特に、「図形」の領域について、よく理解していました。
- ・単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断する問題については、全国平均と比べて低い結果となりました。

【佐賀県学力調査 5年生の結果】

○教科ごとの調査結果の概要

〔正答率〕	国 語	算 数
若基小学校	61.6%	61.3%
佐賀県	62.8%	58.1%

(1) 国語の調査結果概要について

- ・国語全体については、県平均と比べてやや低い結果となりました。特に、「言語の特徴や使い方に関する事項」や「書くこと」の領域について、課題が見られました。また、説明文の内容を読み取る問題で、叙述をもとに段落相互の関係を捉える問題において正答率が低い結果でした。
- ・物語の内容を読み取る問題や「情報の扱い方についての事項（漢字辞典の使い方）」は、正答率が高く、よく理解していました。

(2) 算数の調査結果概要について

- ・算数全体については、県平均と比べて高い結果でした。特に、「図形」の領域について、よく理解していました。また、概数の表し方については正答率が高く、よく理解していました。
- ・2つの数量の関係を、式に表したり割合をもとに比べたりする問題の正答率は低い結果でした。

教科の調査結果より

5・6年生の児童は、日頃から落ち着いて学習に取り組むことができおり、このことが知識・技能の定着につながっていると思われます。一方で、要約したり、理由を書いたりするなど、目的に応じて情報を整理し、分かりやすく伝える力に課題が見られました。そこで、今後は、課題解決のために、条件を意識した振り返りや自分の考えを書くなどの表現活動を充実させたり、問題の意図を正確に読み取るような課題に取り組ませたりしていきたいと考えています。

若基小学校の学力向上の取組方針

- 観点や条件を意識した表現活動（書く活動、話す活動など）を取り入れた授業を行うことで、表現力を高めます。
- 児童が自分の考えを伝え合うことで、より学びを深めていくことができるような授業の工夫をし、主体的に学習に取り組む児童の育成に努めます。
- 一人一台端末等の ICT 機器を活用した学力向上のための取組を推進します。
- スキルタイムを活用して音読・視写・計算の練習に継続して取り組み、基礎的な力の定着を目指します。
- 読書活動を推進し、文章を読み慣れるとともに、読解力や想像力を高めます。

保護者の皆様へ（ご家庭での協力お願い）

6年生の調査結果から、85%以上の児童が、「決まった時刻に起きて寝る」という規則正しい生活ができていました。また、解答した児童全員が、「毎日朝食を食べている」と答えていました。十分な睡眠をとることや朝食を食べることは、健康維持だけではなく、集中力の向上にもつながると言われています。心も体も元気な状態で学習に向かうことができるよう、今後とも保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

家庭学習の様子に目を向けると、約55%の児童が、平日1時間以上学習していることが分かりました。家庭学習の習慣を身に付けることは、知的好奇心を広げたり、社会に出てからも必要となる自ら学ぶ力や自己管理能力を育んだりすることができます。主体的に家庭学習に取り組むことができるように、引き続き授業改善を進めるとともに、子供のできたことや頑張っていることをほめて認める声掛けを行っていききたいと思います。ご家庭でも、温かい励ましを引き続きお願いいたします。